

花かつみ園

初夏に咲く幻の花

草木地区にある花かつみ園で、保存会（竹之越隆幸会長）により、大切に保護されている「花かつみ」の一般公開が始まります。

一般公開

6月4日（日）～18日（日）



昨年の花かつみ園

花かつみ園の位置



花かつみは、アヤメ科の多年草。野花菖蒲（ノハナシヨウブ）で、鮮やかな紫色の花を咲かせます。室町年間に伯耆（ほづき）鳥取県西部）の国から草木の下芳池に移植したと伝えられています。永禄三年（一五六〇）、桶狭間の合戦の際に、徳川家康の武運長久を祈り、家康の生母於大の方が坂部城で、この花かつみを「勝つ」という言葉に心を込めて仏前に捧げたという伝説も残っています。大正時代には「幻の花」と騒がれて盗掘にあい、絶滅してしまつたと言われていました。昭和初期、ひとりの植物愛好家が自生の一株を発見、その後地元の人々によって保護されてきました。昭和六十二年「花かつみ保存会」

問い合わせ先
社会教育課
☎（48）1111（内280）

期間中は短歌、俳句、狂俳の作品を募集しています。園内のボックスに投函してください。

が結成され、同年「花かつみ園」が設置されて一般に公開されています。今年も、鮮やかに紫色に輝く「花かつみ」を鑑賞して、初夏の訪れを感じてください。
一般公開の期間
六月四日（日）～十八日（日）
午前九時～午後四時
早朝開放（写真撮影など）
六月十日（土）、十一日（日）
午前六時から